
アイルと美咲の冒険

英子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アイルと美咲の冒険

【Nコード】

N0921BA

【作者名】

英子

【あらすじ】

栗原 美咲は退屈な毎日を過ごしていた。

ある日、バイトの帰りにアイルと名乗る男と出会う。

怖がる美咲とポーカーフェイスのアイル…、二人の冒険物語が始まる。

1・出会い(前書き)

連載に挑戦です。
がんばります。

1・出会い

ある日

栗原美咲はバイト先の先輩に叱られていた。

「栗原！何度言ったら分かるんだ！？」

彼女は毎回、同じミスをしてしまうのだ。

美咲は泣きそうになるのを、必死に耐えた。

「すみません…」

正直、美咲はこの上司が大嫌いである。

だが、反抗しても仕方がないので、謝るしかなかった。

「また怒られたの？みーちゃん？」

美咲のバイト仲間である島崎恵美が、やってきた。

正直、恵美も苦手だ。

わざとらしい甘い声やしやべり方が駄目だ…。

「大丈夫、慣れてるから。恵美」

それでも外面は良くななくちゃいけないのが、世の常というか悲しい
というか…

「私は帰るね」

美咲は足早にその場を去ったのだ。

美咲は一人で夜道を歩いていた。

だが、後ろで何者かに付きまとわれていた。

(怖い…)

美咲が歩く速度を速くすればするほど、男は速く歩いてくる。

行き止まりにピタリと背中をくつつく美咲に、男は嬉しそうに言った。

「やっと会えましたね。栗原美咲…」

「あなたは誰…?」

美咲が、恐る恐る男に尋ねる。

「我が輩はアイルと申します。」

それが、アイルと美咲の出会いだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0921ba/>

アイルと美咲の冒険

2012年1月2日01時48分発行